



## 2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 セーフィー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4375 URL https://safie.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐渡島 隆平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 兼 CFO (氏名) 古田 哲晴 TEL 03-6311-4570  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	13,464	27.9	△95	—	△117	—	39	—
2024年12月期第3四半期	10,525	24.4	△366	—	△389	—	△1,265	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 51百万円 (—%) 2024年12月期第3四半期 △1,244百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	0.70	0.70
2024年12月期第3四半期	△22.89	—

(注) 2024年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	11,113	8,719	77.8
2024年12月期	11,024	8,569	77.4

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 8,651百万円 2024年12月期 8,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		売上総利益		調整後営業利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	18,400	22.3	9,030	23.1	50～300	—

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 調整後営業利益＝営業利益＋株式報酬費用＋M&Aにより生じた無形資産の償却費用＋その他一過性費用  
 2025年12月期においては、その他一過性費用としてNEDO公募案件採択に伴い新たに発生し、社外流出する外注費などを調整

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 2社 (社名) セーフイーセキュリティ株式会社、セーフイーグロースパートナーズ株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期3Q	55,728,765株	2024年12月期	55,449,850株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	27,082株	2024年12月期	19,807株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期3Q	55,537,703株	2024年12月期3Q	55,290,981株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

当社は、2025年11月13日(木)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料及び動画情報は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(連結範囲の重要な変更) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは「映像から未来をつくる」をビジョンに掲げ、家から街まであらゆるビジネスシーンで活用されているカメラ映像をデータ化することで、人々の意思決定を支援するクラウド録画型映像プラットフォーム

「Safie（セーフィー）」を開発・運営しております。「Safie」は高画質・安価・安全で、いつでもどこでも誰もが簡単にスマートフォンやパソコンで利用でき、小売・飲食・サービス・建設・物流・製造・インフラ・公共・医療などのあらゆる業界で活用いただいております。

日本は2040年には働き手が現在の8割になるという「8掛け社会」が到来する（注1）と推定され、人口減少による労働供給制約社会を迎えることは確実であり、人々の生活に多大なる影響を及ぼすと考えられています。労働力不足が深刻化中、人々の生産性向上に貢献できる企業への期待が高まっており、当社グループを取り巻く市場環境も、こうした動きを追い風としています。

当第3四半期連結累計期間においても、クラウドカメラの用途は防犯カメラにとどまらず、遠隔からの進捗確認、ツール連携による業務効率化やAIを活用した映像解析による異常検知・予測などに発展しております。あらゆる業界で労働力不足への対応ニーズが急速に拡大する中で、それらの課題に答えるソリューションの開発・提供を推進しています。

当社グループはこれまでクラウド録画サービスを中心に市場を形成し成長してまいりました。さらなる市場拡大に向け、既設（オンプレミス）カメラのクラウド化を可能にするネットワーク接続型ストレージ製品「Safie Trail Station（セーフィー トレール ステーション）」を開発し、提供しています。「Safie Trail Station」を活用することで、顧客は既設（オンプレミス）カメラのクラウド移行を手軽かつ低コストで実現できます。その結果、当社グループは課金カメラ台数の非連続的な増加を実現することの蓋然性が増してきております。従来得意領域としていた小規模店舗への少数台のカメラ導入に加え、中・大規模店舗への多台数のカメラ導入も可能になります。主要攻略業界の1つである小売・サービス業界では、クラウドカメラの映像とAIソリューション「AI-App」を組み合わせ、活用することによって、店舗運営の効率化や顧客行動の把握といった課題解決を実現するだけでなく、物流・製造業界では倉庫内や工場内のオペレーションの可視化や業務生産性の向上を実現しています。

防犯・警備業界では「闇バイト」に代表される犯罪の増加や、労働力不足に伴う省人・無人店舗の増加を受け、カメラの活用ニーズが一段と高まっています。また、建設現場や太陽光発電所における金属盗の認知件数増加など、非店舗領域での警備需要も拡大しています。こうした市場ニーズに対応するため、当社グループでは連結子会社であるセーフィーセキュリティ株式会社とセントラル警備保障株式会社との間にて資本業務提携を締結いたしました。「みまもり、よりそい、確かな安心をつくる」をビジョンに掲げ、映像データやAI・IoTを活用し、異常検知から即時通報、映像モニタリング、遠隔声かけ、現場駆けつけまでをシームレスに連携した次世代のセキュリティ対応システムを構築・提供してまいります。今後は、クラウドカメラや既設資産の活用を起点に、遠隔防犯・警備ソリューションの段階的な拡大を目指します。

当社KPIであるARRは2025年9月末時点で13,693百万円（2024年9月末比25.0%増、注2）、課金カメラ台数は33.3万台（2024年9月末比21.1%増、注3）になりました。

カメラ等の機器販売や設置作業費などが含まれるスポット収益は3,932百万円となり、クラウド録画サービス、一部のカメラのレンタルサービスや、LTE通信費、画像解析サービス等を含むリカーリング収益は9,532百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高13,464,683千円（前年同四半期比27.9%増）、営業損失95,416千円（前年同四半期は営業損失366,295千円）、経常損失117,213千円（前年同四半期は経常損失389,259千円）、また、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／データ・生成AIの利活用に係る先進事例に関する調査」により交付された補助金収入454,931千円を特別利益に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益39,138千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,265,465千円）となりました。

なお、当社グループは、映像プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- (注) 1. 出典元：リクルートワークス研究所：「未来予測2040 労働供給制約社会がやってくる」  
2. ARR：Annual Recurring Revenue。対象月の月末時点のMRR（Monthly Recurring Revenue）を12倍して算出。MRRは対象月末時点における継続課金となる契約に基づく当月分の料金の合計額（販売代理店経由の売上を含む）。  
3. 課金カメラ台数は、各四半期に販売したカメラ台数ではなく、各四半期末時点で稼働・課金しているカメラ台数。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は10,294,682千円となり、前連結会計年度末に比べ48,356千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が932,892千円減少した一方で、商品が653,505千円増加、売掛金及び契約資産が230,490千円増加、その他の流動資産が96,056千円増加したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は817,214千円となり、前連結会計年度末に比べ40,050千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が142,535千円減少した一方で、その他の固定資産が178,038千円増加したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は11,113,172千円となり、前連結会計年度末に比べ89,084千円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,349,099千円となり、前連結会計年度末に比べ59,421千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が123,586千円増加、買掛金が62,737千円増加した一方で、賞与引当金が130,580千円減少、その他の流動負債が114,678千円減少したことなどによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は45,029千円となり、前連結会計年度末に比べ1,369千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が892千円減少したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は2,394,129千円となり、前連結会計年度末に比べ60,791千円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は8,719,043千円となり、前連結会計年度末に比べ149,875千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益39,138千円を計上したことや資本金が33,754千円増加、資本剰余金が33,754千円増加、新株予約権が19,044千円増加したことなどによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.8%（前連結会計年度末は77.4%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の業績予想につきましては、2025年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,799,232	5,866,340
売掛金及び契約資産	2,236,238	2,466,729
電子記録債権	12,600	14,400
商品	789,745	1,443,251
その他	413,504	509,560
貸倒引当金	△4,995	△5,599
流動資産合計	10,246,326	10,294,682
固定資産		
有形固定資産	487	5,034
投資その他の資産		
投資有価証券	567,842	425,307
その他	208,832	386,871
投資その他の資産合計	776,675	812,179
固定資産合計	777,163	817,214
繰延資産	598	1,276
資産合計	11,024,087	11,113,172
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,094,652	1,157,390
1年内返済予定の長期借入金	1,656	1,168
未払法人税等	75,450	199,037
賞与引当金	186,480	55,899
その他	1,050,281	935,603
流動負債合計	2,408,521	2,349,099
固定負債		
長期借入金	892	—
その他	45,507	45,029
固定負債合計	46,399	45,029
負債合計	2,454,920	2,394,129
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,617,220	5,650,975
資本剰余金	8,102,602	8,136,357
利益剰余金	△5,194,555	△5,155,417
自己株式	△216	△313
株主資本合計	8,525,050	8,631,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,478	16,128
繰延ヘッジ損益	—	6,260
為替換算調整勘定	△3,238	△2,527
その他の包括利益累計額合計	9,240	19,861
新株予約権	12,720	31,764
非支配株主持分	22,156	35,815
純資産合計	8,569,167	8,719,043
負債純資産合計	11,024,087	11,113,172

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	10,525,986	13,464,683
売上原価	5,270,218	6,731,331
売上総利益	5,255,768	6,733,352
販売費及び一般管理費	5,622,064	6,828,768
営業損失(△)	△366,295	△95,416
営業外収益		
受取利息	261	3,533
受取補償金	1,453	4,449
為替差益	6,145	—
その他	3,062	1,402
営業外収益合計	10,923	9,385
営業外費用		
支払利息	231	170
持分法による投資損失	23,587	18,181
為替差損	—	12,212
投資事業組合運用損	5,873	197
その他	4,195	421
営業外費用合計	33,887	31,183
経常損失(△)	△389,259	△117,213
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13,880
固定資産売却益	799	—
補助金収入	—	454,931
特別利益合計	799	468,811
特別損失		
持分変動損失	—	7,344
減損損失	50,205	34,962
投資有価証券評価損	828,074	88,191
特別損失合計	878,279	130,499
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,266,739	221,098
法人税、住民税及び事業税	4,538	180,301
法人税等合計	4,538	180,301
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,271,278	40,797
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,812	1,659
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,265,465	39,138

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,271,278	40,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,291	3,650
繰延ヘッジ損益	—	6,260
為替換算調整勘定	△30	710
その他の包括利益合計	27,260	10,621
四半期包括利益	△1,244,017	51,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,238,204	49,759
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,812	1,659



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、セーフィーセキュリティ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、当第3四半期連結会計期間において、セーフィーグロスパートナーズ株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間にかかる四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間にかかる減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年9月30日)
減価償却費	2,249千円	2,706千円

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、映像プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。